

海外レポート

ソウル

～ FOOD WEEK 2009 ～

(財)自治体国際化協会ソウル事務所 岡元 隆太郎



この冬は暖冬になるとの予想があったように記憶していますが、残念ながら外れてしまったようで、ソウルは1月初旬に珍しく大雪となり大きな影響を受けました。ソウルは寒さは厳しいのですが雪はほとんど降らないため対策が十分ではなく、交通機関が麻痺してしまうといった結果につながったようです。何十年ぶりの大雪とのことで、その後もほとんど氷点下の日が続いたためなかなか雪が溶けず、1月下旬になっても道路の脇に雪の塊が見られるような状態でした。もっともこの寒さは韓国だけのことではなく、鹿児島でも珍しく大雪に見舞われ交通機関に乱れが生じたとのニュースを見て、どちらにいても同じ経験をすることになったかと思ったりしました。ただ、外はどれだけ寒くとも韓国の建物はオンドルなどで十分に暖房がきいているため、部屋の中は鹿児島よりもはるかに過ごしやすく感じられます。

さて、昨年(2008年)の11月19日(木)から22日(日)までの4日間、韓国ソウル市内において FOOD WEEK 2009 (2009 ソウル国際食品産業展) が開催されましたので、今回はその様子をご紹介します。

この FOOD WEEK という展示会は、専門性を持った個別展示会を統合して開催することで相互間のシナジー効果を発揮しようとする食品産業の総合展で、2006年に初めて開催されて以来、現在は当初の2倍程度にその規模が拡大している韓国でも有数の食品展示会です。

過去の FOOD WEEK 開催状況

| 年 | 開催概要 |
|-------|--|
| 2006年 | 主催：京郷新聞、文化日報、韓国調理機械工業協同組合、 (社)韓国米専業農中央連合会、Coex (コエックス) 展示構成：国際調理機械展、ソウル国際外食産業/食品/厨房機器展示会、 ソウル米博覧会及び発酵食品展、キムチエキスポ 開催規模：292社/機関 457ブース 入場者数：56,499人 |
| 2007年 | 主催：Coex、京郷新聞、文化日報、韓国調理機械工業協同組合、 月刊ホテル&レストラン、京畿道、農協中央会京畿地域本部 展示構成：国際食品博覧会、京畿道名品農畜産物展、国際農畜産物展示会、 ソウル米博覧会及び発酵食品展、国際調理機械展及び食品関連機 資材展、ホテル&レストラン産業展、キムチエキスポ 開催規模：328社/機関 680ブース 入場者数：76,276人 |

| | |
|-------|---|
| 2008年 | <p>主催：Coex、韓国調理機械工業協同組合、京郷新聞、農水畜産新聞、The buyer、京畿道、京畿農林振興財団、月刊ホテル&レストラン</p> <p>展示構成：国際食品博覧会、プレミアム農水畜産物展、ソウル米博覧会及び発酵食品展、国際調理機械展及び食品関連機資材展、食品包装展、ホテル&レストラン産業展、京畿道名品農畜産物展</p> <p>開催規模：429社、850ブース</p> <p>入場者数：76,023人</p> |
|-------|---|

FOOD WEEK 2009 においても、Coex、韓国調理機械工業協同組合、京郷新聞、農水畜産新聞、The buyer、京畿道、月刊ホテル&レストラン等の主催により、国際食品博覧会、国際調理機械/団体給食優秀機資材展、ソウル国際米博覧会及び発酵食品展、プレミアム農水畜産物展、ホテル&レストラン産業展、国際食品包装展示会、マッコリエキスポの7件が同時開催されました。

開催規模は、500社、900ブースにもなり、中国やフランス、ポーランド、ASEAN諸国からも出展がありました。

開催場所となったCoexは、ソウル市江南区の三成洞(サムソンドン)にある巨大な複合施設で、ここにある展示ホールや会議室では年間150以上の展示会、コンベンション、イベントが開かれています。また、この地下にあるCoexモールには、様々なショップやレストラン、フードコート、さらには水族館や映画館まであり、常に人が集まる場所となっています。

以上のように好立地で開催され年々規模が拡大しているFOOD WEEKですが、日本からは2006年に7社、2007年に5社、2008年に24社が参加しています。今回は日本貿易振興機構(JETRO)ソウルセンターが出展企業を募集し、参加希望のあった23都道府県からの38社・団体を取りまとめて日本パビリオンとして出展しています。23都道府県のうち14都道府県には韓国との航空路線があり、関心の高さが伺えます。



【FOOD WEEK 2009の様子(北海道・岩手県のブース)】

韓国との航空路線を持つ都道府県が20数県あることを考えると、今後、出展する都道府県・企業はさらに増えることが予想されます。

日本からの出展は、飲料、日本酒、麺類(乾麺等)、菓子類、冷凍食品、アイスクリーム、茶、漬物、塩、味噌、海藻類、小麦粉など、実に多様な種類にわたり、海外への進出を通じて販路拡大を図ろうという企業の意欲が感じられます。

JETRO ソウルセンターでは、事前のバイヤーの勧誘のほか、期間中のセミナー開催や日韓の企業交流会を開催するなど様々な支援体制を整えており、海外進出に大きな壁を感じている企業にとっては、こうした機会を捉えて参加することで一つの足がかりになるのではないかと思います。

開催期間中には、参加企業によるプレゼンテーションの時間も確保され、ある酒造メーカーが試飲用の日本酒とつまみとしてマグロのツケをふるまったところ、大人気となり黒山の人だかりが出来たそうです。

展示ブースを見て回る関係者も、試食や試飲のできる所では足を止めている方が多く、当然ながら食品は実際に味を確かめてみる必要があると言えるようです。



【FOOD WEEK 2009の様子（静岡県のブース）】

ここで簡単に韓国の流通事情をご紹介すると、日本と異なる特徴的な点は、歴史ある在来市場が今なお全国に 1,600 箇所あまり存在することです。日本人観光客にもなじみのある在来市場としては、東大門市場、南大門市場などの大きいところがありますが、これら 在来市場が現在でも全小売業の 50%程度の売り上げを占めているそうです。在来市場では衣類や食品など何でもそろっていますが、施設の老朽化や防災設備の不備などの問題も多々あり、最近では近代化された百貨店、量販店、スーパーマーケット、コンビニエンスストアなどがほぼ全国に展開されるようになってきて、日本の商品は主にこれら近代化された百貨店や量販店、スーパーマーケットなどで販売されているのが現状です。

韓国のバイヤーによると、日本の商品は味が良く衛生的で安心でき、パッケージも良いため高所得者層に売れているようですが、高所得層向けの嗜好品としての商品から抜け出すにはもう一工夫がメーカーに求められるとのこと。

また、韓国の流通事情で最近注目されるのは大型ショッピングセンターです。FOOD WEEK が開催された Coex の地下にある Coex モールもそうですが、昨年釜山には新世界グループのセンタムシティが、ソウル市内の永登浦（ヨンドンポ）にはタイムズスクエアという巨大なショッピングセンターが開店し多くの人を集めています。タイムズスクエアには日系の店舗も多数入店しており、相乗効果によって日本の商品のブランド力を高めることも出来るのではないかとされています。

店舗を構えないインターネットショッピングも最近急成長しているところで、以前主流だったTVショッピングが、インターネットショッピングの急激な成長に押されてその地位を譲りつつあるようです。このような流通形態は日本と比べると利用価値が高く、日本のメーカーがテスト販売する場としての活用も十分に考えられるところです。

このように、韓国では在来市場が依然として市民の買い物に大きな役割を果たしている一方、近代化の進む百貨店や量販店、今後も成長の見込まれるインターネットショッピングや大型ショッピングセンターなど多様な販売チャンネルがあり、それぞれで良い商品が求められています。

こうした中、日本と地理的に近く文化も似通っている韓国では、日本の食品は受け入れられやすいと言え、韓国のある輸入業者の話では日本の食品の 9 割は韓国人の口に合うだろうとのことなので、日本の食品メーカーにとっては考えられる市場の一つかも知れません。

今回の FOOD WEEK は今年秋になりますが、今年の 5 月 12 日～15 日には、ソウル近郊で Seoul Food & Hotel 2010 (2010 ソウル国際食品産業大展) が開催されます。こちらは今年で 28 回目を迎えるという食品展示会で、韓国貿易振興公社 (KOTRA) が主催し、韓国の政府機関や地方自治体、業界団体など多数の機関が後援しています。こちらにおいても JETRO ソウルセンターが日本パビリオンの準備をしており、日本からの多数の企業・団体の参加が予想されます。

このような FOOD WEEK や Seoul Food & Hotel などの食品展示会を通じて日本の食品がより広く韓国に紹介され、受け入れられるようになれば、さらに韓国に定着する日本食が生まれてくるかもしれません。

参考資料：JETRO ホームページ <http://www.jetro.go.jp/korea/>

JETRO ソウルセンター 2009 年 11 月報道資料

FOOD WEEK ホームページ <http://www.foodweek.co.kr/2009/kor/main.asp>

Seoul Food & Hotel ホームページ <http://www.seoulfood.or.kr/2010/intro.asp>

NNA.ASIA ホームページ <http://news.nna.jp/free/news/20090917krw002A.html>

「韓国の食品流通事情」(株)ダイヤモンドコンサルティング)

【(財)自治体国際化協会ソウル事務所のご案内】

住所：CLAIR SEOUL Rm 909, 9th Floor, Kyobo Bldg. 1, 1-KA, Chongno, Chongno Ku, Seoul, Korea

2010 年 3 月まで、ビルの改装工事のため 16 階から 9 階 909 号室に仮移転しています。

電話：(82) 2-733-5681 FAX：(82) 2-732-8873

このコーナーでは、鹿児島県の海外駐在員や海外派遣職員の方々のフレッシュなレポートを毎月掲載しています。

レポートに関するみなさまからのご意見・ご質問・ご要望等をおまちしております！